



## 倉田小だより 12月号

～つながり いきいき 倉田っ子～

横浜市立倉田小学校



## 大切な仲間

～人権週間 シャンクスの言葉に学ぶ～

校長 末松 隆一郎

師走—12月。12月の呼び方は「師走」の他に、「極月(ごくげつ)」、「限月(かぎりのつき)」、「春待月(はるまちづき)」などがあります。私は、「春待月」という呼び方が好きです。「師走」はやはり気忙しいさを感じますが、こちらは、やがて来る春に向けた希望へのささやきを感じられますね。

さて、人権週間にちなんで、先日の全校朝会(人権朝会)で「ONE PIECE」の話をしました。尾田栄一郎さん原作のこの少年漫画は、1997年より週刊少年誌に連載が始まりました。現在60か国以上の国・地域で翻訳本も販売されており、コミック発行部数が、国内4億1000万部以上、国外1億部以上、2022年8月時点での世界累計発行部数が5億1000万部を突破し、「単一作者による最多発行部数世界一」で、ギネスブックにも認定されている漫画です。主人公「ルフィ」とその仲間たちの夢への冒険、友情・絆をテーマとした海洋冒険ロマンで、今なおテレビ・映画等でも国民的人気を博しています。

その「ONE PIECE」第一巻「ROMANCE DAWN 冒険の夜明け」の中から、「海賊頭・赤髪のシャンクス」の言葉を紹介し、いじめを許さない優しさと強さ、友達や仲間を大切にする優しさと強さについて話しました。

—略— とても感動した言葉がありました。「海賊頭・赤髪のシャンクス」の言葉です。

「いいか 山賊。おれは酒や食べ物を頭からぶっかけられようが、つばをはきかけられようが、たいていのことは笑ってみすごしてやる。だがな、

どんな理由があろうと！！ おれは、友だちを傷つけるやつは許さない！！！！」



素敵な言葉ですね。この言葉で、先生はシャンクスのファンになりました。「ワンピース」には、その他にも、友達や仲間を大切にする言葉がたくさんできます。言葉だけでなく、友達を助けるために、命がけで戦ったり、間違ったことをしそうな仲間がいると、体を張って、説得して止めようとしてします。

主人公のルフィ達は、けんかもありますが、「卑怯ないじめ」や「自分勝手ないじめ」はありません。

世界中で5億冊以上も読まれているということは、世界中の多くの人が、「仲間」や「友達」を大切にし、「いじめ」や「仲間外れ」を憎んでいる証拠だと思います。

みんなも、シャンクスやルフィのような、「いじめ」を許さない優しさと強さ、友達や仲間を大切にする優しさと強さを、ぜひ持ってほしいと思います。



— 11/28 人権朝会(TV)より —

※引用:集英社「ONE PIECE」巻一 p37 より (著作権法 32 条に基づき引用)

倉田小学校にも、この作品が好きな人はたくさんいることと思います。倉田小学校では今日から2週間、世界では12月4日から世界人権デーの12月10日までが人権週間となります。「人権」とは、一人一人が生まれた時から持っている「自分らしく生きる」権利です。そして、すべての人が想い合う心によって守らなければならないものです。各学級の取組等を通して、「友達」や「仲間」、そして「自分自身」がかけがえのない大切な存在であることをあらためて再認識してほしいと思います。